

# シンポジウム 「東海地震と浜岡原発」 ～今、私たちにできること～

巨大地震により原発事故が発生した場合、私たちはどのような防災計画を立てることで、より多くの命を守ることができるのでしょうか？

このシンポジウムは、行政と専門家と市民が一体となり、東京電力福島第一原発事故という厳しい現実を真摯に受け止め、現実的な「巨大地震と原発事故の防災計画」を立てる第一歩にしたいと考えています。シンポジウムで挙げた課題は、静岡県に提言いたします。

\*このシンポジウムは、原発の是非を問うものではありません。



## 2012年4月7日(土)

開場 13:00～

開演 13:30～16:00

会場：静岡県コンベンションアーツセンター  
「グランシップ」  
11階 会議ホール「風」

参加費：500円 定員：500人

一般：事前申込不要(当日定員になり次第締め切らせていただきます)

手話通訳、聴覚障がい者専用席、託児室あり：事前予約要、ご希望の方は、3月31日までにホームページお問い合わせフォーム、電話、メール、ファックスのいずれかで、事務局までお申し込み下さい。

インターネット中継あり(手話通訳も同時にご覧いただけます)

主催：ふじのくに浜岡原発を考える会

協力：生活協同組合パルシステム静岡

後援：朝日新聞静岡総局、静岡第一テレビ、中日新聞東海本社、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局(五十音順)

\*シンポジウム「東海地震と浜岡原発」～今、私たちにできること～は、財団法人大竹財団の助成金及び、株式会社Z会、株式会社日本パープルからの寄付金で実施しています。

## プログラム

第一部「現状と課題」

第二部「ディスカッション原発震災防災計画策定に向けて」

■第一部冒頭スピーチ

安田喜憲 氏(環境考古学者)

■第一部・二部 パネリスト

小林佐登志 氏(静岡県危機管理監)

西原茂樹 氏(牧之原市長)

渡辺敦雄 氏(元東芝原子炉格納容器設計技師、沼津工業高等専門学校特任教授、NPO法人APAST事務局長)

林 能成 氏(静岡大学防災総合センター客員准教授・関西大学社会安全学部准教授)(発言順)

■第二部 市民パネリスト

浜岡原発20キロ圏内市民、母親の立場の浜松市民

■司会

竹内好江 氏(NPO法人磐田ふれあい基金協会副理事長)

\*肩書きは2012年3月31日時点のものです。

お問合せ先：ふじのくに浜岡原発を考える会 シンポジウム事務局

E-mail: shizuokamirai@gmail.com

Tel: 090-4401-8774 Fax: 055-973-1087

HP: <http://shizuokamirai.jimdo.com/>